

「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)に対するメボリズマブの有効性に関する後方視的検討」について

【研究概要及び利用目的】

血管炎症候群の一つである EGPA は主に難治性の喘息の後に発症し、神経・肺・心臓・腎臓などの多臓器の障害をきたす疾患です。ステロイド剤が有効ですが、減量により再発を繰り返すことも多く、その副作用も問題となります。EGPA に対する生物学的製剤メボリズマブ（ヌーカラ®）は病気の原因に関係する物質 IL-5 の働きを抑えることにより血液データの改善や病気の再発の抑制、ステロイド剤の減量を可能にするなどの効果がある薬剤で、投与患者さんの一部ではステロイド剤を中止することも可能となっています。

今回我々は当科に通院されている EGPA 患者さんにおいて、メボリズマブの投与の有無で、その他の治療薬（免疫抑制剤・ステロイド剤）の投与量や内容、症状や検査値に変化があるのかを、診療録をさかのぼってデータを収集して、より最適な治療方法に近づくための調査を行います。

【研究期間】

病院長承認日～2025年3月31日

【研究対象期間】

2014年4月1日～2024年3月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

研究対象期間に当科において EGPA として診療を行った患者の診療録より、下記のデータを採取します。

- ① 基本情報：生年月日、性別、診断名
- ② 疾患情報：症状、罹患臓器、罹病期間、治療薬の種類と用量、合併症、疾患活動性
- ③ 検査項目：血清 ANCA 値、炎症反応や好酸球数などの非特異的に疾患活動性の指標となる検査値、罹患臓器についての画像検査結果

【個人情報保護の方法】

患者さんの個人データについて、研究実施にかかる既存情報を取り扱う際は、患者さんの個人情報とは無関係の番号を付して研究対象者識別番号リストを作成し、連結可能匿名化を行い秘密保護に十分配慮いたします。研究対象者識別番号リストは研究に参加している研究責任者が各医療機関において厳格に管理し研究の結果を公表す際は患者さんを特定できる情報を含まないように留意します。

研究の目的以外に研究で得られた患者さんのデータは使用しません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試料の取り扱いについて】

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は研究発表 5 年後に患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会などで発表されることがありますがその際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には下記問い合わせ窓口までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降は患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかし同意を取り消した時点ですでに研究成果が論文などで公表されていたような場合には廃棄はできません。

【情報の提供を行う機関の名称及び管理責任者の氏名】

加古川中央市民病院 院長 大西 祥男

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することはどうぞ下記窓口にお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リウマチ・膠原病内科

研究責任者名：山根 隆志

連絡先：079-451-5500